

3年保存

記入例

No. ×××

作成日 2019年10月1日

作成者 ●●●●

アスベスト有無に関する事前調査記録

石綿障害予防規則第3条及び大気汚染防止法第18条の15に基づき建築物等の石綿事前調査を実施しました。

解体等工事の元請者の氏名 又は 名称、住所 及び 連絡先 並びに 法人にあっては、その代表者の氏名	〒0000-0000	
	住所	静岡県浜松市〇〇区〇〇町〇〇-〇
	法人名	〇〇解体株式会社
	肩書・氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
連絡先	053 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
解体等工事の名称	■■ 保育園解体工事	
解体等工事の場所	〒0000-0000 静岡県浜松市〇〇区〇〇町〇〇	
工事の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 解体工事 / <input type="checkbox"/> 改修、改造工事	
解体等工事の概要 ※記入例 〇階建ビル(工作物)解体工事、 電気設備工事、内装工事、リフォーム工事	平屋建て保育園解体工事	
解体等工事の発注者の氏名 又は 名称 及び 住所 並びに 法人にあっては、 その代表者の氏名	〒0000-0000	
	住所	静岡県浜松市〇〇区〇〇町〇〇
	法人名	株式会社▲▲
	肩書・氏名	代表取締役 ▲▲ ▲▲
連絡先	053 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
調査対象建築物等の着工年月日	1984年 6月 1日 / 不明	
建築物等の概要	建築物	<input type="checkbox"/> 耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> その他
		<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> RC造 <input checked="" type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> その他
		地上 1階建 / 地下 階建
		延べ床面積 608.951 m ²
	【用途】	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> 娯楽施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院
		<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 特殊建築物 ()
	工作物	<input type="checkbox"/> 運輸関連施設 <input type="checkbox"/> 戸建て住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅
		<input type="checkbox"/> 反応炉 <input type="checkbox"/> 加熱炉 <input type="checkbox"/> ボイラー及び圧力容器 <input type="checkbox"/> 配管設備 <input type="checkbox"/> 焼却設備
		<input type="checkbox"/> 煙突 <input type="checkbox"/> 貯蔵設備 <input type="checkbox"/> 発電設備 <input type="checkbox"/> 変電設備 <input type="checkbox"/> 配電設備 <input type="checkbox"/> 送電設備
		<input type="checkbox"/> トンネル天井板 <input type="checkbox"/> プラットホーム <input type="checkbox"/> 遮音壁 <input type="checkbox"/> 軽量盛土保護パネル
		<input type="checkbox"/> 鉄道の駅地下式構造部分の壁及び天井板 <input type="checkbox"/> 船舶
		<input type="checkbox"/> その他 ()
事前調査を行った箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 工事対象建築物のすべて <input type="checkbox"/> 改造、改修、補修等を行う部分 ()	

※1 書面及び現地調査を行った者	氏名及び 所属する法人名	〇〇解体株式会社 ●●●●	
	講習実施機関の名称 (資格の種類)	一般社団法人□□協会 (<input checked="" type="checkbox"/> 一般、 <input type="checkbox"/> 特定、 <input type="checkbox"/> 一戸建て等、 <input type="checkbox"/> その他)	
事前調査を終了した年月日	2019年10月1日		
調査の方法	<input type="checkbox"/> 着工日から判断		
	<input checked="" type="checkbox"/> 書面調査 ※必須 備考()	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 ※必須	<input checked="" type="checkbox"/> 分析調査
文書記録(書面調査を行った文書記録)	添付文書一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 維持保全記録	<input type="checkbox"/> 登記事項証明書
調査結果概要・特記事項 ※2(詳細は、別紙参照)	<input type="checkbox"/> 調査の結果、石綿含有建材は確認されなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 調査の結果、以下の石綿含有建材が確認された。 1 吹付ロックウール(レベル1) 部屋No.35調理室のふところ、天井、梁、柱に使用されており分析を行った。結果は石綿含有(クリソタイル)であった。【分析結果報告書〇】 2 煙突用石綿断熱材(カボスタック)(レベル2) 部屋No.43煙突に使用されており、この材料は、国土交通省の石綿含有データベースでは石綿含有(アモサイト)と記されていたため、石綿含有と判断した。【添付資料〇】 3 配管保温材(水練り保温材)(レベル2) 部屋No.42機械室の配管エルボ部分に使用されており、分析を行った。結果は石綿含有(アモサイト)であった。【分析結果報告書〇】 4 リシン吹付け(仕上げ塗材) 部屋No.44北側外壁の軒天外壁、No.48南側外壁の軒天外壁に使用されており、分析を行った。結果は石綿含有(クリソタイル)であった。【分析結果報告書〇】 5 けい酸カルシウム板第1種(ニチアスラックス)(けい酸カルシウム板第1種) 部屋No.8湯沸室、No.9洗面手洗い(男)、No.10男子便所、No.13女子便所、No.14踏込(男浴)、No.15脱衣室(男)、No.16トイレ(男脱衣室)、No.17男子浴室、No.18踏込(女浴)、No.19脱衣室(女)、No.20トイレ(女脱衣室)、No.21女子浴室、No.22障害者便所、No.35調理室の天井、No.46調理室の軒天に使用されており、この材料は、国土交通省の石綿含有データベースでは石綿含有(クリソタイル・アモサイト)と記されていたため石綿含有と判断した。【添付資料〇】 6 岩綿吸音板(成形版等) 部屋No.2玄関、No.3ロビー、No.11倉庫、No.38倉庫①、No.39倉庫②の天井に使用されており分析を行った。結果は石綿含有(クリソタイル)であった。【分析結果報告書〇】 また、上記の天井は二重貼り施工となっており、下地の石こうボード(無含有建材)の上に石綿含有岩綿吸音板が施工されているため、同時除去が必要である。 7 防水シート(アスファルトフェルト)(その他) 部屋No.2玄関のふところに使用されており、材料の裏面確認によりアスファルトフェルトと確認した。この材料は、石綿含有の可能性があるので、みなし含有とした。【添付資料〇】 8 長尺シート 部屋No.8湯沸室、No.9洗面手洗い(男)、No.10男子便所、No.13女子便所、No.14踏込(男浴)、No.15脱衣室(男)、No.16トイレ(男脱衣室)、No.17男子浴室、No.18踏込(女浴)、No.19脱衣室(女)、No.20トイレ(女脱衣室)、No.21女子浴室、No.22障害者便所、No.35調理室の床に使用されており、長尺シートと接着剤を一緒に分析を行った。結果は石綿含有(クリソタイル)であった。【分析結果報告書〇】		

※1 調査を行った者の資格を証明する書類を添付すること。

※2 添付資料には、文書記録(設計図書、維持管理記録、登記事項証明書等)、現地調査記録(調査票、写真表、平面図等)、石綿含有“なし”と判断した判断根拠となる資料(メーカー証明、分析結果等)を添付すること。

●建築物等の着工年月日から石綿の使用がないことが明らかになった場合は、以下は記載不要。

現地調査記録	<input checked="" type="checkbox"/> すべての建築材料	
	<input type="checkbox"/> 吹付け材 <input type="checkbox"/> 保温材 <input type="checkbox"/> 断熱材 <input type="checkbox"/> 耐火被覆材 <input type="checkbox"/> 成形板 <input type="checkbox"/> 仕上塗材 <input type="checkbox"/> その他()	
	添付文書一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 写真 ※必須 <input checked="" type="checkbox"/> 調査票 ※必須 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 ※必須 <input type="checkbox"/> その他()	
分析調査記録	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙 分析結果報告書 のとおり / <input type="checkbox"/> 未実施	
※3 分析による調査を行った者	氏名 及び 所属する機関 又は 法人の名称	▲▲分析センター株式会社
	講習実施機関の名称	一般社団法人日本作業環境測定協会 一般社団法人日本環境測定分析協会 一般社団法人日本繊維状物質研究協会 など
分析調査の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 定性分析 分析方法(JIS A 1481-1 偏光顕微鏡法)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定量分析 分析方法(JIS A 1481-4 偏光顕微鏡法)	
分析調査を行った箇所	1.長尺シートと接着剤(部屋No.4玄関ホール、No.15脱衣室(男)、No.38倉庫①、No.7事務所、No.23和室C、No.35の調理室の床) 2.ソフト巾木(部屋No.6事務室、No.19脱衣室(女)、No.39倉庫②の巾木) 3.岩綿吸音板(部屋No.3ロビー、No.5廊下、No.6事務所の天井) 4.吹付ロックウール(部屋No.35調理室のふところ、天井、梁、柱) 5.水練り保温材(部屋No.42機械室の配管エルボ) 6.スタッコ吹付け(部屋No.44北側外壁、No.46調理室外壁、No.47東側テラス外壁、No.48南側外壁) 7.リシン吹付け(部屋No.44北側外壁軒天外壁、No.48南側外壁軒天外壁) 8.仕上げ塗材(部屋No.53事務所外壁) 9.FRP防水材(部屋No.54屋上屋根防水屋根) 10.スカイモルタル(部屋No.54屋上屋根)	
届出対象建材の有無 (みなし作業は、有に○をすること)	吹付け材 ※パーライト、バーミキュライト吹付け材を含む	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	保温材、断熱材、耐火被覆材 ※屋根用折板断熱材、ケイ酸カルシウム板2種を含む	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
届出対象外建材の有無 (みなし作業は、有に○をすること)	仕上塗材	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	ケイ酸カルシウム板1種	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	成形板等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	その他の建材	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
調査ができなかった箇所 (再調査を行う時期)		

※3 分析調査を行った者の資格を証明する書類を添付すること。

※4 事前調査記録は、工事期間中は工事現場に保管し、工事完了後は3年間事務所等に保管すること。

(大気汚染防止法では、元請業者及び自主施工者に、石綿障害予防規則ではすべての事業者記録の保管義務があります。)

工事の名称	■■保育園解体工事	対象建築物等の着工年月日	1984年6月1日	建物階数	地上1階
建物等の名称	■■保育園	構造	S造	延べ床面積	608.951 m ²
所在地	静岡県浜松市〇〇区〇〇町〇〇		用途	公共施設	

調査期間	2019年7月10日～10月1日	調査責任者	〇〇解体株式会社 ●●●●
書面調査期間	2019年7月10日～7月23日	書面調査者	〇〇解体株式会社 ●●●●
現地調査期間	2019年7月24日～7月30日	現地調査者	〇〇解体株式会社 ●●●●

No	階数	部屋名	部位	書面調査							現地調査					調査結果							
				材料名	使用面積(m ²)	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	※1石綿の種類	※2判断根拠	添付資料	書面調査との整合性	材料名	特記事項	写真番号	採取試料番号	採取位置	石綿の有無	※1石綿の種類	※2判断根拠	※3材料の種類	添付資料	
1-1	1	玄関ポーチ	床	床タイル 100角 磁器質	12				なし				○	床タイル 100角 磁器質		1			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
1-2	1	玄関ポーチ	巾木	ミカゲ石 100*100	不明				なし				×	モルタル塗り 仕上		1			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
1-3	1	玄関ポーチ	腰壁	不明	不明				不明				×	無し					<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
1-4	1	玄関ポーチ	壁	コンクリート打放し スタッコ吹付	6				不明				○	コンクリート打放し スタッコ吹付	年代、製品名不明のため分析調査	1 AS1-1	AS-1	サンプリング位置'図参照	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		c	無	分析結果報告書No.xx
1-5	1	玄関ポーチ	天井	軒天下地ビニトックスパントレ	12				不明				○	軒天下地ビニトックスパントレ		1			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
1-6	1	玄関ポーチ	ふところ	不明	不明				不明				×	木毛板		1 VS-1			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,d	無	資料No.xx
																			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
2-1	1	玄関	床	床タイル 100角 磁器質	22				なし				○	床タイル 100角 磁器質		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
2-2	1	玄関	巾木	ミカゲ石 100*100	不明				なし				○	ミカゲ石 100*100		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
2-3	1	玄関	腰壁	ミカゲ石 100*100	不明				なし				×	無し					<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
2-4	1	玄関	壁	ビニルクロス	8				不明				×	紙壁紙	壁紙材料準不燃材第0001号無含有製品確認	2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		b	無	資料No.xx
2-5	1	玄関	壁	モルタル磨き下地	8				不明				○	モルタル塗り 仕上		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
2-6	1	玄関	天井	岩綿吸音板	22				不明				○	岩綿吸音板	リフ付12mm 製品名不明の為分析調査 AS-5と同等品	2 VS-2	AS-2	サンプリング位置'図参照	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	刈	c	板	分析結果報告書No.xx
2-7	1	玄関	天井	PB下地	22				不明				○	PB下地⑦ 9mm	準不燃2015であるが下地材の為岩綿吸音材と同時除去必要	2 VS-2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,b	無	資料No.xx
2-8	1	玄関	ふところ	不明	不明				不明				×	木毛板		2 VS-2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,d	無	資料No.xx

※1 石綿の種類を表記
 クリ : クリソタイル アン : アンソフィライト
 アモ : アモサイト トレ : トレモライト
 クロ : クロシドライト アク : アクチノライト
 不明 : 不明

※2 判断根拠(石綿無しの場合は、根拠とした証明書や分析結果等を添付すること)
 a : 「国土交通省・経済産業省 石綿(アスベスト)含有建材データベース」
 b : メーカーの証明書、ホームページ情報
 c : 分析
 d : 公開されている材料名などの情報から現時点では一般的に含有せず
 e : その他

注意 : a.データベースに記載されていないことをもって石綿なしの根拠とはなりません

※3 材料の種類
 レベル1 吹付け材
 レベル2 保温材、断熱材、耐火被覆材、ケイ酸カルシウム板2種
 仕上 仕上塗材
 ケイ1 ケイ酸カルシウム板1種
 板 成形板等
 他 その他の建材
 無 無石綿

No	階数	部屋名	部位	書面調査							現地調査					調査結果						
				材料名	使用面積	商品名	メーカー名	石綿含有の可能性	※1石綿の種類	※2判断根拠	添付資料	書面調査との整合性	材料名	特記事項	写真番号	採取試料番号	採取位置	石綿の有無	※1石綿の種類	※2判断根拠	※3材料の種類	添付資料
2-9	1	玄関	ふところ	不明	不明							×	グラスウール敷	100mm 無含有製品確認	2 VS-2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,b,d	無	資料No.xx
2-10	1	玄関	ふところ	不明	不明							×	配管保温材 グラスウール	無含有製品確認	2 VS-2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,b,d	無	資料No.xx
2-11	1	玄関	ふところ	不明	不明							×	防水シート アスファルトフェルト	みなし含有	2 VS-2			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	不明	b	他	資料No.xx
2-12	1	玄関	靴棚	不明	不明							×	コンクリート造り		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
2-13	1	玄関	靴棚	不明	不明							×	モルタル塗り		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
2-14	1	玄関	靴棚	不明	不明							×	紙壁紙	壁紙材料準不燃材第0001号無含有製品確認	2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		b	無	資料No.xx
2-15	1	玄関	靴棚	不明	不明							×	モルタル磨き下地		2			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
																		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
3-1	1	ロビー	床	長尺塩ビシート [㊦] 20mm	24							○	長尺塩ビシート [㊦] 20mm	製品名不明のため分析	3 AS-3	サンプリング位置 [㊦] 参照		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		c	無	分析結果報告書No.xx
3-2	1	ロビー	床	モルタル磨き下地	24							○	モルタル磨き下地		3			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
3-3	1	ロビー	巾木	ソフト巾木100mm	不明							○	ソフト巾木100mm	製品名不明のため分析	3 AS-4	サンプリング位置 [㊦] 参照		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		c	無	分析結果報告書No.xx
3-4	1	ロビー	腰壁	不明	不明							×	無し					<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
3-5	1	ロビー	壁	ビニルクロス	8							○	ビニルクロス	壁紙材料準不燃材第0003号無含有製品確認	3 VS-3			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		b	無	資料No.xx
3-6	1	ロビー	壁	モルタル磨き下地	10							○	モルタル磨き下地		3			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		d	無	
3-7	1	ロビー	天井	岩綿吸音板	24							○	岩綿吸音板	リ [㊦] 付12mm 製品名不明の為分析調査	3 AS5-1	AS-5	サンプリング位置 [㊦] 参照	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	刈	c	板	分析結果報告書No.xx
3-8	1	ロビー	天井	PB下地 [㊦] 9mm	24							○	PB下地 [㊦] 9mm	準不燃2015であるが下地材の為岩綿吸音材と同時除去必要	3 VS-3			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,b	無	資料No.xx
3-9	1	ロビー	ふところ	不明	不明							×	木毛板		3 VS-3			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		a,d	無	資料No.xx
																		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				

※1 石綿の種類を表記
 クリ : クリソタイル アン : アンソフィライト
 アモ : アモサイト トレ : トレモライト
 クロ : クロシドライト アク : アクチノライト
 不明 : 不明

※2 判断根拠(石綿無しの場合は、根拠とした証明書や分析結果等を添付すること)
 a : 「国土交通省・経済産業省 石綿(アスベスト)含有建材データベース」
 b : メーカーの証明書、ホームページ情報
 c : 分析
 d : 公開されている材料名などの情報から現時点では一般的に含有せず
 e : その他

注意 : a.データベースに記載されていないことをもって石綿なしの根拠とはなりません

※3 材料の種類
 レベル1 吹付け材
 レベル2 保温材、断熱材、耐火被覆材、ケイ酸カルシウム板2種
 仕上 仕上塗材
 ケイ1 ケイ酸カルシウム板1種
 板 成形板等
 他 その他の建材
 無 無石綿

記載方法について

1.上段の対象物件

(1)【対象物件】

- ①工事の名称:契約書に記載された工事の名称を記入する。
- ②建物等の名称:発注書通りの建物名を使う、複数の建物が存在する場合は補助番号などで補
- ③所在地:竣工当時の所在地と現在の所在地を記載するように努める。
- ④対象建築物等の着工年月日:建築物等の建築工事着手日を記入する。
(法改正などとの照らし合わせに必要)改修年もここに記入する。
- ⑤建築構造:木造S造RC造その他にレ点を入れる。
複合する場合は存在する構造に全てレ点を入れる。
- ⑥建物用途:事務所工場/倉庫娯楽施設学校など複数選択可である。
- ⑦階数:平家か複数階か地階があるのかなど
- ⑧延床面積:図面に記されている様に記す。小数点2桁など

(2)【調査の種類】

- ①調査期間 書面調査 現地での目視調査
- ②実施者:所属と氏名を書面調査と現地での目視調査それぞれに書く。

(3)【各室の調査結果】左から

- ①通し番号(調査部屋番号平面図の右サイドの部屋リスト表にて管理)
- ②階数
- ③部屋名
- ④部位(床、幅木、腰壁、壁、天井、ふところ) 必要に応じて下がり壁、袖壁、下がり天井、ふところ内既存の天井など追加になることがある。

(4)【書面調査】

- ①材料名 竣工図に記載されている用語を確認して記載する。
- ②使用面積 建築材料の使用されている面積を可能な限り記載する。
- ②商品名 竣工図に記載されている用語を確認して記載する。
- ③メーカー名 竣工図に記載されている用語を確認して記載する。
- ④石綿飛散の可能性 高濃度及び劣化状況が最悪の場合などに使用
- ⑤石綿の種類 想定並び限定が可能な場合に使用
- ⑥判断根拠 想定し現地での目視調査にて確認するが書面での判断が必要な場合使用
- ⑦添付資料 想定し現地での目視調査にて確認するが書面での判断が必要な場合使用

(5)【現地での目視調査】

- ①整合性の確認 書面と現地が整合する場合は○、整合しない場合は×で明示する。
- ②材料名 整合する場合もしない場合も記録する。
- ③特記事項 整合する場合は書面調査添付書類を活用、整合しない場合は製品の確認、建材種類、施工年代・製品製造年代の確認、裏面の情報の確認及び記録、分析等の通し番号と同一範囲とする建材の番号などの記載をする。
- ④写真番号 整合性の確認状況写真と試料採取等の状況写真の番号など
- ⑤採取試料番号 試料採取番号を記載
- ⑥採取位置 試料採取(サンプリング)位置図との連携を記載

(6)【調査結果】

- ①判断根拠 分類を記号で記入する。
 - a.「国土交通省・経済産業省 石綿(アスベスト)含有建材データベース」
 - b.メーカーの証明書、ホームページ情報等
 - c.分析による
 - d.公開されている材料名などの情報から現時点では一般的に含有せず
 - e.その他(具体的に記載)
- ②添付試料 左記判断の根拠を証明するのに必要な資料を記録する。
- ③石綿の有無 “あり”か“なし”かの二択を記す。(みなしは、“あり”とすること)
- ④石綿の種類 クリソタイル=クリ、アモサイト=アモ、クロシドライト=クロ、アンソフィライト=アン、トレモライト=トレ、アクチノライト=アク、不明=不明
- ⑤材料の種類 レベル1、レベル2、仕上げ塗材=仕上、ケイ酸カルシウム板1種=ケイ1、成形板=板、その他=他、無石綿=無

※2枚目以降は、【対象物件】【調査の種類】を省いた書式を使用する。

③ 調査状況写真

『石綿事前調査書面と現地との整合性の確認表(日本アスベスト調査協会書式)』									
調査	1			ロビー			3		
調査項目	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果
材料名、製品名等	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果
床	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果
天井	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果
壁	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果
ふところ	調査	結果	調査	調査	結果	調査	結果	調査	結果



整合性の確認表による網羅的調査。全ての部屋を動線計画に沿って調査する。

裏面確認の状況写真

VS-5廊下



VS-5廊下

壁 確認
紙壁紙 壁装材料 準不燃001号



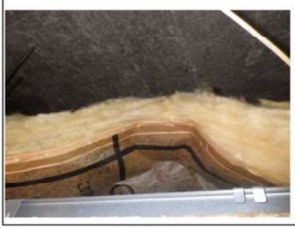
VS-5廊下

壁、モルタル磨き下地 確認
紙壁紙 壁装材料 準不燃001号



VS-5廊下

天井 確認
PB290mm 準不燃2015号



VS-5廊下

ふところ 確認
天井裏 グラスウール敷き 100mm



VS-5廊下

天井裏面 確認
PB290mm 準不燃2015号



VS-5廊下

ふところ 確認
屋根裏断熱材 木毛板

VS-7事務所 増築)



VS-7事務所 増築)

ふところ 確認



VS-7事務所 増築)

ふところ 確認
折板裏断熱材



VS-7事務所 増築)

ふところ 確認
折板裏断熱材



VS-7事務所 増築)

ふところ 確認



VS-7事務所 増築)

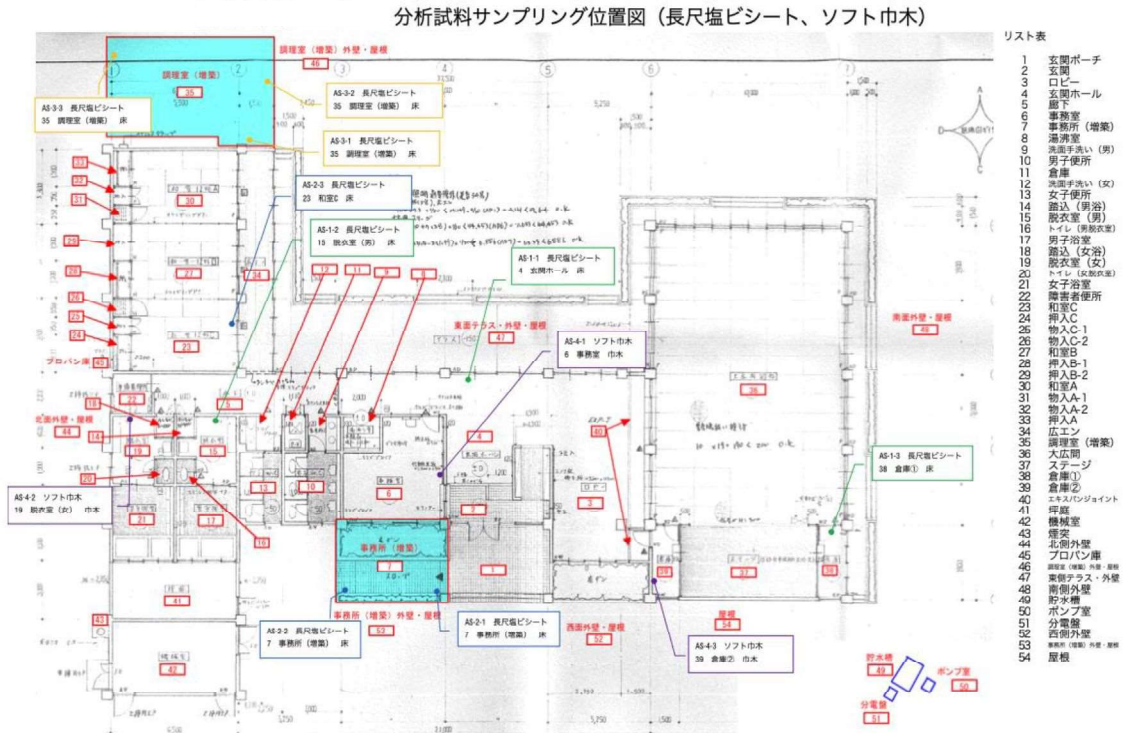
天井裏面 確認
化粧石膏ボード (ジプトン) 準不燃2016号



VS-7事務所 増築)

動線計画に沿って、リスト表の順に網羅的な調査を行う。部屋ごとに床、幅木、腰壁、壁、天井、ふところの確認を行う。

④ 分析試料サンプリング位置図



分析試料の採取場所、試料No、3箇所からの採取状況が分かるように平面図に記載する。書面調査で分析しなければならない建材を洗い出し、目視調査で分析対象建材を確定することになる。施設規模、敷地内棟数によって、試料採取数は大きく変わるが10検体を超えることは珍しくない。

発注者にわかりやすい様に位置図作りを進めていくことが必要である。同一と考えられる建材の範囲ごとに、原則として3箇所以上から試料を採取すること。(変動性・均一性の適切な考慮)

例えば採取 No. 1-1、長尺塩ビシート、室番号4 玄関ホール、部位は床。採取 No. 1-2、長尺塩ビシート、室番号15 脱衣室男子、部位は床。採取 No. 1-3、長尺塩ビシート、室番号38 倉庫①、部位は床。などの様に適宜色分けをして採取位置を明記する。

同一と考えられる建材の範囲は、1室になることもあれば、1フロアにあること、複数階に跨ることもある。

⑤ 試料採取（サンプリング）状況写真

AS-2 長尺塩ビシート		
AS-2-1 長尺塩ビシート	AS-2-1 長尺塩ビシート	AS-2-1 長尺塩ビシート
1F 7 事務所 (増築) 床 湿潤剤散布状況	1F 7 事務所 (増築) 床 試料採取状況	1F 7 事務所 (増築) 床 固化剤散布状況
AS-2-2 長尺塩ビシート	AS-2-2 長尺塩ビシート	AS-2-2 長尺塩ビシート
1F 7 事務所 (増築) 床 湿潤剤散布状況	1F 7 事務所 (増築) 床 試料採取状況	1F 7 事務所 (増築) 床 固化剤散布状況
AS-2 長尺塩ビシート		
AS-2-3 長尺塩ビシート	AS-2-3 長尺塩ビシート	AS-2-3 長尺塩ビシート
1F 23 和室C 床 湿潤剤散布状況	1F 23 和室C 床 試料採取状況	1F 23 和室C 床 固化剤散布状況
	クリックで 現地調査の写真を貼る	クリックで 現地調査の写真を貼る
AS-2 長尺塩ビシート		
採取試料		

非意図的に混入した石綿の有無も確認することが必要であることから、分析方法にかかわらず、同一と考えられる建材の範囲ごとに、原則として1検体につき3箇所以上から試料を採取する（変動性・均一性の適切な考慮）。試料採取状況写真は、採取地点の全てで撮影する。

⑥ 分析試料一覧表（分析依頼表）

分析試料一覧表

試料 番号	採取場所 部位)			採取物材名	採取建物名	竣工年月	試料採取日 採取者)資格	試料採取日 採取指示者)資格
	部位①	部位②	部位③					
AS-1	4 : 玄関ホール 床	15 : 脱衣室 (男) 床	38 : 倉庫① 床	長尺塩ビシート		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-2	7 : 事務所 (増築) 床	7 : 事務所 (増築) 床	23 : 和室C 床	長尺塩ビシート		H13.11.30	2019/07/28	2019/7/28
AS-3	35 : 調理室 (増築) 床	35 : 調理室 (増築) 床	35 : 調理室 (増築) 床	長尺塩ビシート		H1.7.31	2019/07/28	2019/7/28
AS-4	6 : 事務室 巾木	19 : 脱衣室 (女) 巾木	39 : 倉庫② 巾木	ソフト巾木		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-5	3 : ロビー 天井	5 : 廊下 天井	6 : 事務室 天井	岩綿吸音板		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-6	35 : 調理室 (増築) ふところ 梁	35 : 調理室 (増築) ふところ 梁	35 : 調理室 (増築) ふところ 柱	吹付けロックウール		H1.7.31	2019/07/28	2019/7/28
AS-7	42 : 機械室 配管エリア①	42 : 機械室 配管エリア①	42 : 機械室 配管エリア①	水練り保温材		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-8	42 : 機械室 配管エリア②	42 : 機械室 配管エリア②	42 : 機械室 配管エリア②	水練り保温材		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-9	44 : 北側外壁 外壁	47 : 東側テラス・外壁 外壁	48 : 南側外壁 外壁	スタッコ吹付け		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-10	44 : 北側外壁 (軒庭部) 軒天外壁	44 : 北側外壁 軒天外壁	48 : 南側外壁 軒天外壁	レン吹付け		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-11	46 : 調理室 (増築) 外壁	46 : 調理室 (増築) 外壁	46 : 調理室 (増築) 外壁	スタッコ吹付け		H1.7.31	2019/07/28	2019/7/28
AS-12	53 : 事務所 (増築)外壁 屋根 外壁	53 : 事務所 (増築)外壁 屋根 外壁	53 : 事務所 (増築)外壁 屋根 外壁	仕上塗材 (ローラー塗り)		H13.11.30	2019/07/28	2019/7/28
AS-13	54 : 屋上・屋根 防水屋根	54 : 屋上・屋根 防水屋根	54 : 屋上・屋根 防水屋根	FRP防水材		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28
AS-14	54 : 屋上・屋根 屋根	54 : 屋上・屋根 屋根	54 : 屋上・屋根 屋根	スカイモルタル		S59.8.6	2019/07/28	2019/7/28

- ① 試料番号 AS-1 は（アナリシスサンプリングの略）分析のためのサンプリング。
- ② 採取場所は3つの部屋にまたがることもあり得る。
- ③ 採取物建材名は、竣工図（特記仕様書、仕上表）に書かれている建材名（商品名）に合わせる。使用建材が竣工図と異なる場合は使用建材の建材名となる。
- ④ 採取建物名は、調査対象に複数棟があれば配置図等で確認し、記載がない場合は、調査依頼者に分かり易く表現する。
- ⑤ 竣工年月においては、改修工事が行われていれば改修年月となる。新しい年月を記す。
- ⑥ 試料採取日、採取者資格は、採取した者の姓名と資格を記すこと。
- ⑦ 採取指示者においても、採取者と同様である。

⑦ 分析結果報告書及び分析結果一覧表

分析機関から提出された分析結果報告書を添付する。また、分析結果の一覧表を添付する。

石綿分析結果報告書は「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【1.20版】」の参考資料に掲載されている。

⑧ 判断根拠の資料

建材情報、建材の施工状況・商品名・製品の確認写真等を添付する。

判断根拠の資料は、含有建材・無含有建材の判断をした根拠であるので、発注者にわかりやすくまとめなければならない。判断根拠の詳細な説明は、特記事項に記録する。

⑨ 調査者資格者証の掲示

調査を行った全員の資格者証をわかりやすく添付する。